



幼少時から郷土愛を育む

「三ツ星保育園児が茶摘み体験」

5月8日、三ツ星保育園の年長・年中児19人が基幹産業である茶業への親しみを深め、郷土愛を育むことを目的とした茶摘み体験を開催。保育園すぐ隣の茶園で、笑顔いっぱいの園児が茶摘みを楽しみました。

お茶香るまち④
【特集】

三ツ星保育園の年長・年中児19人が、隣接する茶園で茶摘み体験をしました。

園児たちは、保育士さんから「芯二葉を3枚の葉に例え「摘むのは上から3枚の葉っぱだよ!」と手ほどきを受けながら、楽しそうに摘み取っていました。

手もみ茶のように手のひらで新芽をよる園児も。「すごくいいにおい!!」とうれしそうにはしゃいでいました。

普段、家でもお手伝いをしていのか、慣れた手つきの園児たちも多く、1時間ほどの作業で収穫したお茶は約5キロ。

当日のお昼に、早速天ぷらにして味わったほか、蒸して簡易的にホットプレートで煎り飲み茶に仕上げた楽しみました。

茶摘み体験は、茶業に対する親しみと愛着を幼少時から深めてもらうことを目的として毎年実施されています。このように体験し、味わうお茶の味は忘れられない思い出になることでしょう。





【3年後の五輪へ】

海外派遣選手選考会

もっと速く もっと強く

こんにちは

おおむらあすみ
大村朱澄

です!

vol.

7

3月下旬、香川県府中湖にて開催された海外派遣選手選考会に参加しました。この大会は毎年開催され、その年の日本代表を選考する重要な大会です。またシーズン初めということ、冬のトレーニングの成果を試す機会でもあります。今回私は500mシングルと200mシングルの2種目に出場しました。結果としては2種目とも優勝することができましたが、内容としてはまだまだ満足できない点が多くありました。

ブラジル合宿ではそこそこ良い感触をつかんできましたが、帰国後から試合直前の調整までは納得のいく漕ぎができていませんでした。そのため、試合に臨むにあたって少し不安がありました。でも試合中は、いつも通りやることと今までやってきたことを信じるように意識したので、心配していた部分はそこまで気にならず、レースだけに集中できました。500m決勝では、ライバルである先輩が後半から上がってくるだろうと想定していました。でも

も試合が始まったら相手は気にせず自分の世界で漕ぎ、レース前半から攻めていこうと決めていました。実際、守りに入らず前半から自分のリズムを刻めたことは良かったのですが、やはり後半から一気に先輩が追いついてきて、ラスト100mで接戦の末にコンマ差で逃げ切りました。追いつかれてからは一瞬前に出られたりもしましたが、負けたくなかつたし譲れなかつたので、力を振り絞りました!!久しぶりにギリギリのレースをしたことは自分にとって良い刺激となり、また心に火がついたような感じがしてうれしいです。世界で戦っていくためには共に競い合うライバルが必要ですが、負けず嫌いなので追いつかれてきていることに悔しさを感じます。そしてもっと強くなる!速くなる!!という気持ちがありました。その意味では今回のレースで先輩と競うことができ感謝しています。

続いて出場した200mでも、レースに集中できていきましたが、予選・準決勝とも苦手としているスタートがうまくいきませんでした。決勝は風と波の影響を受けましたが、この状況は「ビビらないもの勝ち」だと感じていたので、気にせず無心でいきました。決勝が一番バシッと決まって、あつという間だったと思えるほどの集中力を発揮できました。冬の間のウエイトトレーニングによる筋力アップや漕ぎの改善、ブラジルで行った短発的なスタートダッシュの練習など、やってきたことが生きたレースだったのではないかなと自分で感じることでできてうれしかったです。しかしタイム自体はかなり遅く、シーズン最初の試合という点を考慮しても、女子全体や自分自身のレベルが低く終わってしまったことが残念です。夏に向けて時間を大切に、より質の高い練習を重ねていこうと思います。

この大会結果により改めて今年度の日本代表に選ばれ、7月のユニバーシアードに出場することになりました。この大会は、全

世界の大学生アスリートにとって最高峰の舞台であり、またカヌー連盟が今年最も重要視している大会でもあります。選手枠がとも少なく好成績が求められる大会なので、メダル獲得を目指してしっかり強化していきます!!

今後の試合日程(予定)
▼ユニバーシアード
(ロシア)
7月14日~17日



「海外派遣選手選考会」2種目優勝(家族提供写真)